

企画・編集：真鍋徳子 自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科

序 説

新型コロナウイルスのデルタ株が猛威を振るった2021年の夏の第5波が終わり、ようやく医療体制が元にもどったのもつかの間、年が明けてあっという間にオミクロン株による第6波に突入した。2022年1月現在、国内の累積感染者数は200万人を超えている。

初期のCTによる肺炎評価にどう対応するかというフェーズは過ぎ、オミクロン株は肺炎像が少ないこともあり、現在はむしろ増え続ける感染後の後遺症患者にどう対応するかが社会的に問題となり、long COVIDともよばれる病態も少しずつクローズアップされてきている。

今回の特集では、心血管および中枢神経系の後遺症にフォーカスして、新型コロナウイルス後遺症外来で多くの患者さんを実際に診察しておられる循環器内科の相川忠夫先生、そして米国の現状にもお詳しい黒川真理子先生らに病態や画像所見について解説いただいた。

また、ワクチン後の副反応も腕の痛みや発熱に加えて、若年層では心筋炎合併が問題となっており、国民の大部分が受けるであろう3回目ワクチン後の副反応についてわれわれの知識をアップデートする時期にきていると考えている。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから2年が経とうとしているが、ウイルスの変異はまだ続くであろうし、現時点での皆様の知識の整理に役立てていただければ幸いである。

真鍋徳子